

秋晴れが続き、子供たちは毎日、スポーツ・フェスティバルに向けて練習に励んでいます。熱心さのあまり、体調を崩すことがないように、気をつけています。

家庭科:ミシンでものづくり

5・6年生の家庭科の学習の様子をお知らせします。

5年生はエプロンを、6年生は修学旅行にもっていくリュックサックをつくりました。少人数のよさでしょうか、実際に一人ずつミシンをさわりながら、ミシンの扱い方を理解することができました。初めてのミシンで戸惑いがちな5年生も、困った時には、教師だけに頼らず、5・6年生の子供同士で、お互いにアドバイスを求めたり送ったりしていました。

地島小学校は少人数の学校です。教師の目が行き届くというよさがありますが、教師に頼りやすいという傾向もあります。

だからこそ、「自分の頭で考える」「友達と力を合わせる」ということを、指導する側が意識しておくことが重要だと考えます。「手を出さずに、見守る」「タイミングを見計らって手を出す」という姿勢を大切にしています。



毛筆指導



緊急事態宣言が解除後、ゲスト・ティーチャーの先生方を学校に招いています。10月7日(木)は、毛筆指導の縄田先生に来ていただきました。

「やっと、来ることができました」と笑顔で学校に来られた縄田先生は、一人ひとりの子供たちの手を取り、筆を取り、指導をしてくださいました。

子どもたちも、その熱心さを受けとめ、集中して学習し、自分の作品の出来栄に満足していました。

地島小学校では、読み聞かせ、ダンス、三線など、多数のゲスト・ティーチャーの方にご協力をいただいています。子供たちにとって、「ほんもの」と出会うよい機会となっています。



読書リーダー養成講座報告会

夏休み期間中、宗像市図書課が企画した「読書リーダー養成講座」がありました。宗像市内の各校より、それぞれの学校における読書活動の推進役となる子供を育もうとする取組です。本校からは、5年生の橋本千紘さんが参加しました。

養成講座は、ユリックスの宗像市民図書館で開催され、図書司書の仕事を体験したり、どのように本が保管されているのか見学したりしたそうです。その経験を報告し、より多くの子供たちに本への興味をもってもらうというのが、「読書リーダー養成講座報告会」です。

10月8日(金)給食時間中に、玄海東小と地島小をオンラインでつなぎ、養成講座に参加したそれぞれの読書リーダーが協力し合って、活動内容を報告しました。



これをきっかけに、子供たちの読書への関心がさらに高まることを期待しています。

地島音頭



地島には「地島音頭」があります。

例年、大運動会では、子供もおとなも全員で踊りますが、今年のスポーツ・フェスティバルでも踊ります。

先日の中運動会の際、地島漁協の女性部の方にご指導いただきました。まだまだぎこちない動きの子供たちもいますが、当日は、全員で踊りたいと思います。ご指導いただいた女性部の皆様ありがとうございました。

大漁旗の作成

スポーツ・フェスティバルの会場には歴代の卒業生が作成した大漁旗が飾られます。

6年生の百花さんは、今、その作成をしています。百花さんの思いを込めた大漁旗。どんな大漁旗ができあがるか、とても楽しみです。

大漁旗のお披露目は、フェスティバル当日です。

